



安来市立病院 地域連携室つうしん

NO.53
令和4年11月



看護の日によせて



看護部長
渡部純江

「看護の日」は近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ5月12日に制定され、毎年看護について多くの人に知っていただく機会となるよう、活動を行っています。今年の看護の日のテーマは、「いのち、暮らし、まもる人」でした。当院の看護師も安来市民の「いのち、暮らし」をまもるべく、日々奮闘しています。今回は新型コロナウイルスへの対応と、「看護の日」の活動として看護部各部署が作成した画像から、「安来市立病院看護部」を紹介させていただきます。

◆当院における新型コロナウイルス感染症への対応

当院では平成29年から閉鎖している4階病棟に新型コロナウイルス感染症患者の専用病床を3床整備し、入院受け入れの準備をして来ました。ナースステーションと病室側廊下を遮断し、患者との直接対面を極力しないようにゾーニングを行いました。この病棟に初めて入院患者を受け入れたのは、令和4年1月第6波の到来と共に安来市においても患者数が増加した時期でした。当院が受け入れる患者は、重症化リスクはあるものの状態としては軽症で、ADLの自立した患者が中心でした。しかし次第に高齢の感染者が増加し何らかの介助が必要な患者を受け入れるとなると、看護師が常駐しない病棟での看護は難しいと考えるようになっていました。



7月に入ると発熱外来の患者はこれまでに経験のない数に急増しました。入院が必要と判断される高齢の患者や、保健所からの入院要請等が相次ぎ、3階病棟（一般急性期病棟）で患者を受け入れる判断に至りました。これまで4階病棟で行っていたゾーニングの考え方を一新し、病室内をレッドとイエロー、廊下をグリーンにゾーニングしました。一般患者の往来を避けるために本来は必須ではありませんが、ビニールカーテンを設置しました。3階病棟で急性コロナ患者を受け入れるためには、2階病棟（地域包括ケア病棟）や療養病棟のバックアップベッドが必要なため、ベッドコントロール会議で知恵を出し合い、入院が必要な患者が全て入院できるよう、各部署一丸となって努力しました。病棟間の移動、病室の移動、その都度の環境清掃、看護部各部署に配属された看護補助者の力が大きく発揮される日々でした。コロナ専用病床は3床ですが、入院を必要とする患者の急増により、最大9名の患者を受け入れた時期もありました。透析患者の陽性者の入院もあり、他の患者との透析時間の調整、専用ベッドの作成など工夫を行いました。色々な場所のゾーニングは、常に事務部門の素早い対応と、プロのような管財係の大工仕事(?)のおかげで、思い描いた「かたち」を実現してもらうことができました。

一般病棟で患者を受け入れることには、看護部はもとより病院職員の多くが不安を覚えたことは事実ですが、高齢の患者が元気になって退院される姿や、職員に感染者が出ない現実を確認することで、その不安はすぐに解消されました。

またこの夏の発熱外来は、暑さのピークに受診者も増え、ドライブスルーのPCR検査は看護師にとって暑さとの闘いでした。検査希望の電話対応、伝票の記入、検体の受け取り、処方薬のお届け等、外来看護師だけでは手が回らない部分を、他部門からの応援を受けて対応することができました。



新型コロナウイルスによって、私たちの日常は大きく変化しました。これまでの当たり前が、当たり前ではなくなり、息苦しさや喪失感を感じることもあります。しかし、この新型コロナウイルスがもたらした“危機”のおかげで、部門を越えた協力体制をより強固なものにすることができました。

私たち安来市立病院看護部職員一同、この先にまた感染拡大の波が訪れても、正しい知識と自分たちの感染対策に自信を持って「いのち、暮らし」をまもる看護の提供に努めてまいります。今後ともご指導のほど、よろしくお願いいたします。

◆安来市立病院看護部の紹介

**安来市立病院
看護週間**

～看護の心をみんなの心に～
2022.5.9～2022.5.20

5月12日は
看護の日

看護の日

21世紀の高齢社会を支えていくためには、
看護の心、ケアの心、助け合いの心を、
私たち一人一人が分かち合うことが必要です。
こうした心を、老若男女を問わずだれもが育む
きっかけとなるよう、旧厚生省により、
「看護の日」が1990年に制定されました。

看護師の働く職場

看護師は病院内の
こんな部署で働いて
います！

3階病棟
2階病棟
療養病棟

外来・透析室
中央手術室

看護管理室

医療安全推進室
感染対策室

地域連携室
健康推進室

外来の中には……

外来 透析室 中央材料室・手術室

大きく分けて3つの部署があります。
3つの部署が協力し、専門性の高い看護を提供しています。

外来

透析室

**手術室
中央材料室**

2階病棟の紹介

地域包括ケア病棟とは

①入院等をきっかけに要介護者となった方の
状態改善と、ご家族の介護力の調整を行
い在宅復帰を支援する病棟です。

②急性期治療が落ちついた患者さんや、自
宅や施設からの入院患者さんを受け入れ、治
療やケア・リハビリを行います

退院前訪問の様子

リハビリ担当者や在宅復帰支援担当者と一緒に、退院前や退
院後の訪問に積極的に取り組んでいます。

3階病棟ってどんな病棟？

- ・3階病棟は外科、整形外科、内科など様々な病気やケガ
を対象とし、手術や検査を主に行う急性期病棟です。
- ・術後は早期からリハビリがはじまり、看護師だけでなく、
リハビリスタッフとも協力して患者さまが一日でも早く
日常に戻れるように援助を行っています。

多職種（地域連携室やリハビリさん）との
カンファレンス風景

療養病棟のご紹介

今はコロナ禍で直接面会は出来ませんが……
ライン・オンライン面会のお手伝いをさせて頂いています。

医療安全推進室・感染対策室

一部ですが
メンバーを紹介します

看護師-保健師 薬剤師 医師事務

医療安全推進室長（水田副院長） 看護部-保健師（医療安全推進室-室長兼事務） 感染対策室長（水田副院長兼部長）

来院されるみなさまに安心して医療を受けていただけるように、
また、職員が安心して働けるように、
医療安全や感染対策に関する情報発信、研修会の開催、院内の見回り
などの活動をおこなっています。

健康推進室

健康推進室の看護スタッフです！
いつも健康でいられるために
定期的な健診を受けましょう！

人間ドック（日帰り・昼）
各種がん検診
政府管掌生活習慣病予防健診や
事業所健診、特定健診
等を行っています。

看護管理室

患者さまに安全・安心な看護を提供
できるよう、ハード・ソフト両面から
看護職員をサポートする仕事をし
ています！

事務員 看護部長 看護部次長

外来業務を
しています

3階病棟を
兼用しています

訪問栄養指導についてお知らせ

当院では、高齢者様の入院患者が多く、フレイル・サルコペニアの状態であることも珍しくありません。日々の業務の中で、在宅での栄養指導の必要性を強く感じているところです。そこで、今夏より、疾病や負傷のために、現在通院が困難な在宅療養中の方のご自宅に、管理栄養士が定期的に訪問させていただき、栄養指導、調理指導、献立の提案などさせていただき、「訪問栄養指導」を開始させていただきました。今後も在宅での食生活をサポートさせて頂きたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。お問い合わせは、栄養管理室、地域連携室までお願いいたします。

※在宅患者訪問栄養指導料 I

医療保険(530点/30分)、介護保険(544単位/30分)



10月より、新しく地域連携室に着任した、 社会福祉士をご紹介します。



玉木 直之

令和4年10月1日より、安来市立病院地域連携室に社会福祉士として着任いたしました玉木直之と申します。

今までは、高齢者施設や障がい者支援施設で勤務しておりました。地域の皆様に寄り添い、ご相談等を傾聴し、お役に立てるよう努めていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

医療関係者の皆様に、当院病棟が受け入れ可能な状態であるかの確認ができるように「空床情報」をホームページに掲載しております。

右のQRコードからのご確認頂けますので、ご活用くださいませ。



病院QRコード

**地域連携室は、開業医の先生方はじめ、地域の皆さまのお役に立てるよう尽力いたします。
今後ともよろしくお願ひ申し上げます。**



安来市立病院 地域連携室

担当：竹田・田中・長島・山本・玉木

予約受付時間 8：30～17：00

TEL 0854-32-2333

FAX 0854-32-2335

2022/10/17 13:07 安来市, 島根県